

夏季研修会

【明石海峡大橋登頂、明石散策】

小島 武雄

8月4日(日)朝9時、JR舞子駅に30名の参加者到着。眩しいほどの快晴。眼の前には、これから登る明石海峡大橋が雄大な姿を見せています。

広がる群青の大海原、輝く白い波頭、大小の船が行き交うのを眺め、潮の香りと心地良い浜風に囲まれて、気持ちが昂ります。

実はこの「ブリッジワールド」ツアー(ツアー参加料金3000円)は、1日2回48名の定員で1グループ5名までの先着順での受付。よって今回の30名の確保のために、2か月前の6月1日に6名で手分けして、朝10時に同時メールで申し込みました。少々ハラハラしたが、全員参加することができました。

参加条件に高所および閉所恐怖症でない方とあるのが、ずっと気に掛けていましたが？

さあ、スタート。海色のヘルメットとメッシュのベストを着用。イヤホン、携帯電話や水筒の落下危険防止のためストラップを肩にかけ、諸注意事項を受け、展示ブースで100分の1の橋の模型を見たり、基礎の岩盤の様子や、延210万人の作業員が関わった事等を聞いたりして、いよいよ橋へ。目指すは中央主塔へ、車道の下を通る管理路を歩きます。

960m 約15分の空中散歩、海面までは65m、床はスケスケの溝蓋、海がしっかり見えています。お一怖わ。風を受けて、みんなでゾロゾロ歩いてきます。時々ガッシャー、ガッシャーと大音量をさせて、上を走る車の通過音、思わず首がすくみます。橋の左右には、淡路島への黒く塗られた太い給水パイプ、通信ケーブル、高圧電流の箱のようなものが続いています。自動車だけではないのですね。



中央主塔に到着。ここから282.8m(地上98階)に昇るエレベーターに乗り込みます。鉄の塊のような室内は、暑い風の扇風機がまわっています。天井も低く閉塞感が少しありますが、約2分で頂上へ。出口から急な鉄の階段を上がると、そこは息を飲む開放感。広さは30㎡ほどで、窓ガラスも天井もありませんが、高所恐怖症の私も手摺壁があるので大丈夫。ここは、説明はいりません。写真をご覧ください。明石の街並み、淡路島が、真下には豆粒の車が…。15分の滞在時間でしたが、とても暑い。



駅前のビルでの海鮮などの昼食後は、山陽電鉄舞子公園駅から、人丸前駅に移動し明石天文科学館の展望台へ。東経135度の子午線標柱を見て、眺めの良い柿本神社から円照寺へ。このあたりで、暑さも頂点に。本松寺では、宮本武蔵の庭園を見学して木陰で休憩し、明石城に到着。緑陰ありがたい。広い公園を散策、三重櫓が公開されていました。その後有志にて、魚の棚商店街へ移動し明石焼きを堪能しました。



<橋上の手摺壁の穴からの展望>

途中色々あり皆さまにご迷惑おかけしましたが、大変な暑さの中を無事に終えることができ、本当にありがとうございました。



明石城櫓の狭間から明石駅を望む